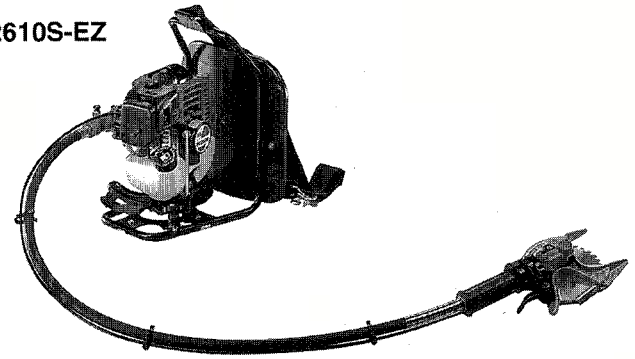
ZENOAH

T1827-93111 (E0/A706)

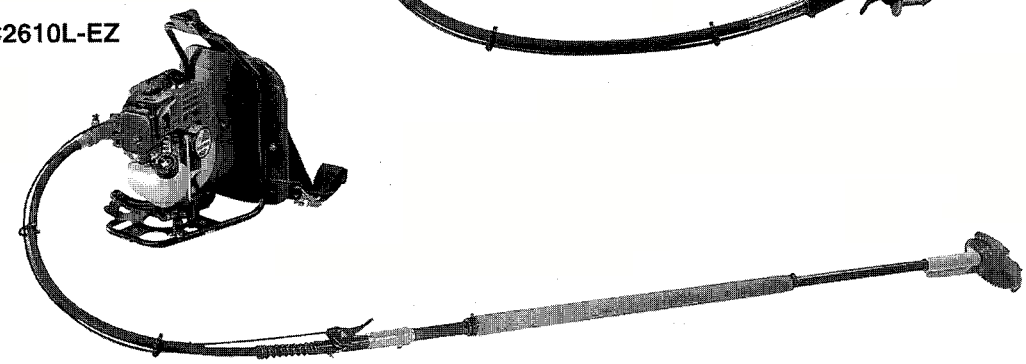
ゼノア背負枝打機 取扱説明書

PC2610S-EZ
PC2610L-EZ

PC2610S-EZ



PC2610L-EZ



⚠注意	● 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ● 取扱説明書は大切に保管してください。

⚠注意	PC2610L-EZをご購入のお客様へ、工場出荷時のエンジンに組み付けられているスロットルワイヤはPC2610S-EZ用1300mm仕様です。ご使用前に作業機付属のPC2610L-EZ用スロットルワイヤ（1100mm）と交換してください。1300mm仕様のままですと、枝などの障害物に引っかかりやすくなり、エンジン回転の制御が困難になることがあります。

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って**誤操作のないよう**ご注意ください。

マーク表示部位	図　柄	意　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠危険	**：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。**
⚠警告	**：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。**
⚠注意	**：注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。**
重要	**：注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。**
補足	**：その他、使用上役立つ補足説明を示します。**

目　次

⚠ 正しくお使いいただくために　・・・・・1

警告ラベルとその取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

サービスと保証について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■製品をお使いになる前に

●ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

●本製品は杉や桧の枝打ちを用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的には使用しないでください。

●本製品は高速回転する刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

①足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合

②霧や夜間など、作業現場周辺の安全確認が困難な場合

③天候悪化時（降雨雪、強風、雷など）

●初めてお使いになる場合は、実作業に入るまえに熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。

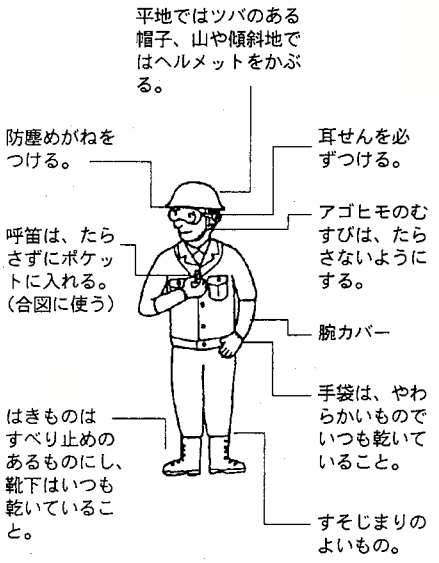
●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

⚠ 正しくお使いいただくために

■使用時の服装・装備



●本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

①作業帽子（傾斜地作業時はヘルメット）
②防塵めがね
③丈夫な手袋
④滑りにくく丈夫な靴
⑤耳栓（特に長時間作業時）

また、次の用品を携行してください。

①製品付属工具及び目立てヤスリ
②適切な容器に入れた燃料
③交換用刈刃
④作業区域表示用具（ロープ、立て札等）
⑤呼笛（共同作業時や非常時の合図用）
⑥なた、手のこ（障害物除去用）
⑦防虫スプレー、救急セット

●裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

■燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

●給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

■運搬時の注意事項

●車で運搬する時は刈刃を布などで覆い、荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

●燃料が漏れ出す恐れがありますので、燃料タンクに燃料を入れたまま運搬しないでください。

⚠ 正しくお使いいただくために

■使用前の注意事項

●作業を始める前に現場の状況（地形、樹高、樹径、樹間など）をよく確かめ、つる草など作業の邪魔になる障害物を除去してください。

●作業者から15m以内を危険区域とし、数人で共同作業を行なう場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。

●作業を開始する前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみ、燃料漏れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特に刈刃及び刈刃取付部は入念に点検してください。

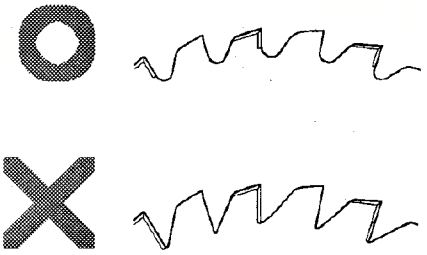
●作業機の刈刃ガイドや下面カバーを取り外して使用しないでください。

●刈刃は、ゼノア純正品を使用してください。

●刈刃は正しく目立てされたものを使用してください。

●刈刃は、欠け、ひび割れ、曲がりなどがないことを確認してから使用してください。異常のある刈刃は絶対に使用しないでください。

●刈刃の目立てをするときは割れ防止のため必ず刃元に丸みをつけてください。



●刈刃取り付け時は本書の取り付け要領に従って正しく取り付けてください。

●刈刃を締め付け後、手回しして振れや異音がないことを確かめてください。振れがあると異常振動や刈刃取付部ゆるみの原因となり非常に危険です。

⚠ 正しくお使いいただくために

■エンジン始動時の注意事項

●エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。

●本製品は遠心クラッチを装備しているため、不用意にエンジンをかけると始動と同時に刈刃が回り始めます。始動時はエンジンをかける前に刈刃にロック(回り止め)をしてください。

●スロットルワイヤがフレキシブルシャフトにラセン状に巻きついていないか確かめ、巻きついている場合は、グリップ部を回してまっすぐにしてください。スロットルワイヤが巻きついたまま運転すると、スロットルレバーから指を離してもエンジンの回転が下がらず非常に危険です。

●スタータノブを引いた後、遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押さえていてください 。

●エンジン始動後、スロットルレバーを完全に戻したときに刈刃が回らないことを確かめてください。刈刃が回り続ける場合はただちに使用を中止し、完全に整備してください。（本文10ページ及び23ページ参照）

■作業時の注意事項

●枝打ち作業は心にゆとりをもち、安定した姿勢で行なってください。急いだり、無理な姿勢での作業は重大な事故の原因となります。

●作業時は常にグリップをしっかり握ってください。

●エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。

●枝の切断時は、刈刃の前方に左手をおかないでください。負傷の危険があります。

●作業中はスロットルワイヤがフレキシブルシャフトにラセン状に巻きついてしまわないように注意し、巻きついてしまった場合は、いったんエンジンを停止し、グリップ部を回してまっすぐに伸ばしてください。スロットルワイヤが巻きついたまま運転すると、スロットルレバーから指を離してもエンジンの回転が下がらず非常に危険です。

●刈刃や機体の点検、燃料補給が必要な場合は、作業前に必ずエンジンを停止し、刈刃にロックをしてください。

●作業中に刈刃が木にはさみ込まれた時は、エンジンを停止してから切り口を開いてください。

⚠ 正しくお使いいただくために

●作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやプラグコードに触れないでください。

●高温によるヤケドの恐れがありますので、エンジン運転中及び停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。

●作業中断時は、エンジンを停止するか刈刃にロックをしてください。

■整備上の注意事項

●この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。

●製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作ができなくなる危険があります

●点検整備時は、作業前に必ずエンジンを停止してください。

●エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。高温のため火傷の危険があります。

●刈刃の着脱や研ぎ直しをする時は正しい工具を使い、丈夫な手袋を着用してください。

●刈刃などの交換用部品や補充用油脂類は、必ずゼノア純正品またはゼノア指定銘柄品を使用してください。

⚠ 正しくお使いいただくために

■警告ラベルとその取扱い

PC2610S-EZ

①品番 T3216-24130

取扱説明書を読むこと

ヘルメット・防塵メガネ・耳栓着用のこと

PC2610L-EZ

②品番 T3222-32150

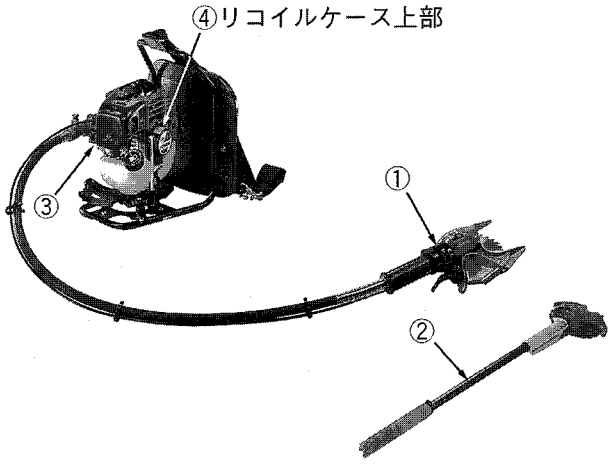
ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。

③品番 Z5500-91190

⚠ 注 意
始動時は刈刃の回りに身体や障害物を近付けないで下さい。

【貼付位置】

④リコイルケース上部



④品番 T1812-91190

⚠ 警告	遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押さえていてください。

【ラベルのメンテナンス】

（1）警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

（2）警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

（3）新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

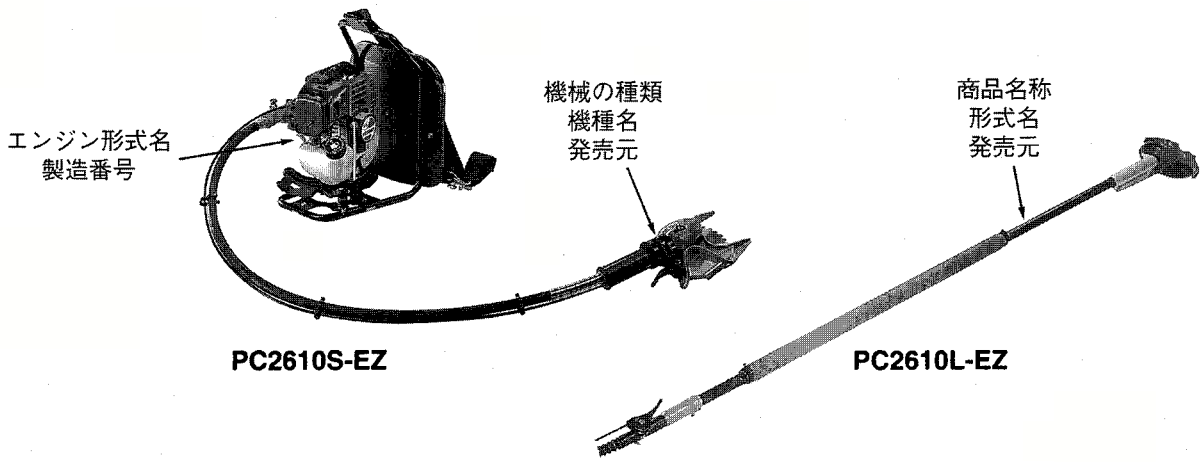
サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品およびサービスに関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽にお近くの弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

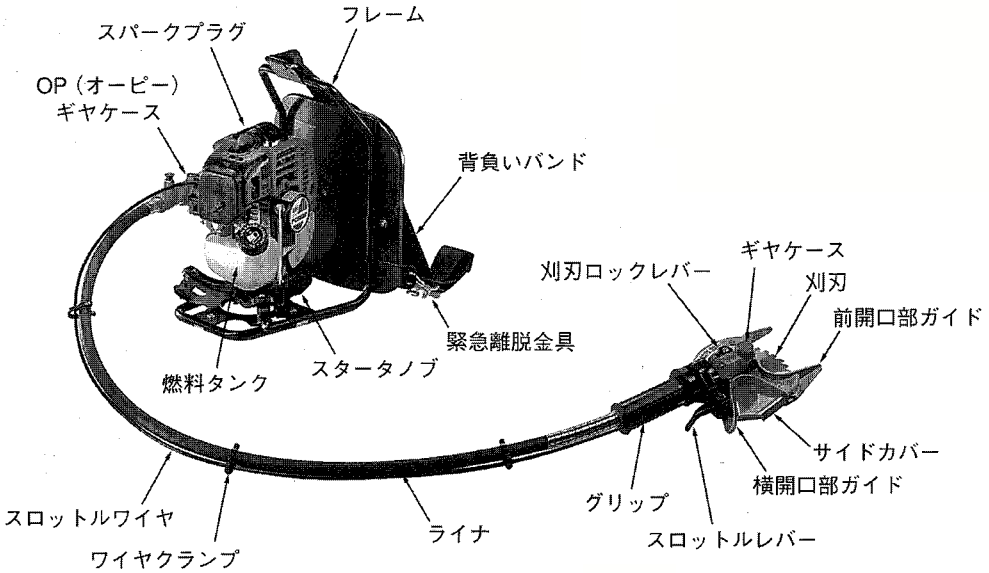
本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後８年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

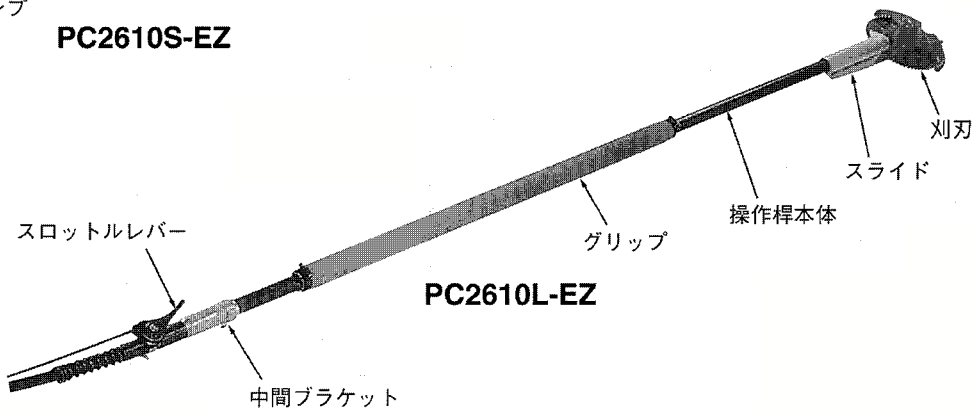
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

⚠警告	**機械の改造は危険ですので、改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。**

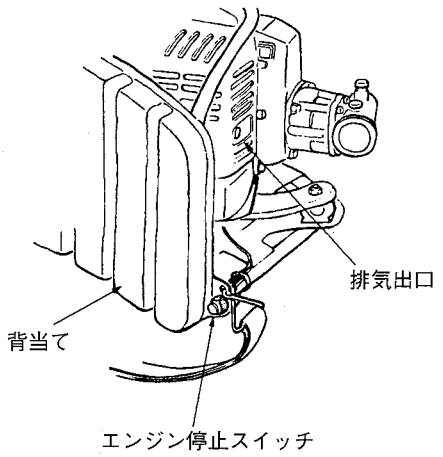
各 部 の 名 称



PC2610S-EZ



PC2610L-EZ



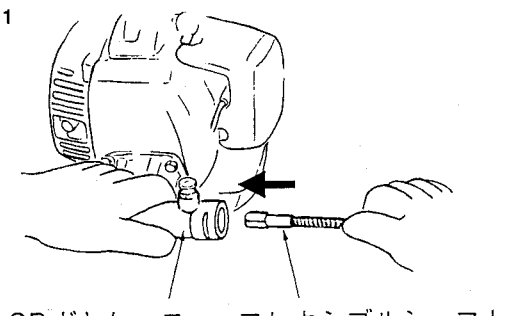
組　立

背負い部と作業機部は別梱包になっていますので、開梱後次の要領で正しく組み立ててください。

■フレキシブルシャフトの接続

エンジンへの接続

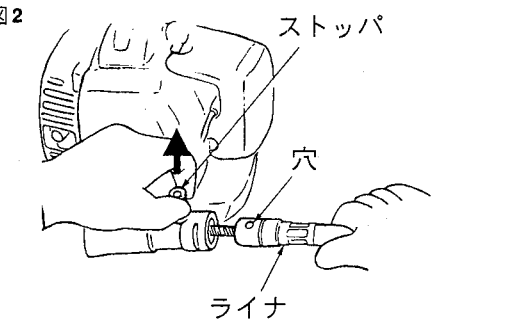
図1



1. フレキシブルシャフトの端にはめられている保護キャップを取り外してから、シャフトを約5cm引き出し、OPギヤケース内の角穴に挿入してください。(図1)

2. OPギヤケース上部のストッパを引き上げて、ライナ端部の穴を上に向けながらOPギヤケースに押し込んでください。(図2) ストッパとライナの穴が合うとカチッという音がして接続されます。

図2

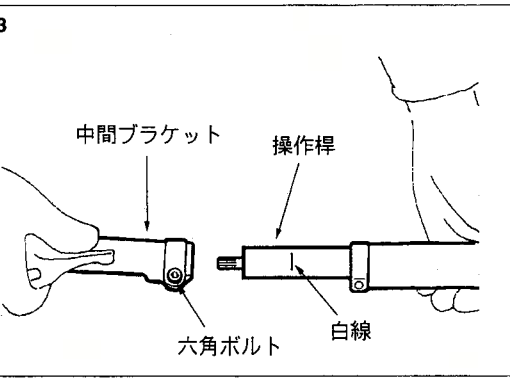


補足 ライナが入りにくい場合はいったん抜いて、フレキシブルシャフトと角穴の向きを合わせてから入れ直してください。

重要 接続後、ライナを手で引いて見て、抜けないことを確かめてください。

操作桿への接続 (PC2610L-EZ)

図3



1. 操作桿端部のゴムキャップを取り外してから、桿をフレキシャフトの中間ブラケットに白線の位置まで入れてください。

2. 中間ブラケットのボルトを付属の六角レンチ(対辺5mm) で締め付けてください。

3. 操作桿のグリップ取付ボルトを付属の六角レンチ (対辺4mm) で締め付け、グリップが動かないことを確かめてください。

■スロットルワイヤの接続（PC2610S-EZ）

⚠注 意	ワイヤ取り付け後、ワイヤの口金部がワイヤ受け金具に正しく納まっていることを確かめてください。ワイヤの口金部がワイヤ受け金具に乗り上げていると、スロットルレバーを戻してもエンジン回転が下がらず危険です。

図4

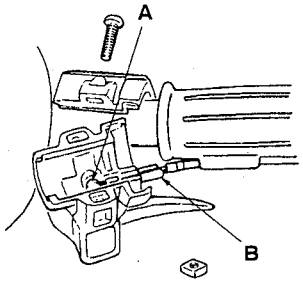
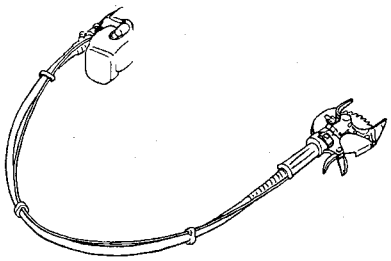


図5



1. グリップの前に取り付けられているスロットルレバーをいったん取り外してください。

2. エンジンに接続されているスロットルワイヤを、ライナのワイヤクランプとグリップの穴に通してから、ワイヤの端をスロットルレバーのくぼみ（図4のA）にはめ、ワイヤを引きながらワイヤの口金部を図4のB部にあてがってください。

3. スロットルワイヤをエンジン側に引きながら、スロットルレバーを元の位置に取り付けてください。（図5）

4. スロットルワイヤがライナにまっすぐ沿うように、ワイヤクランプの位置と向きを調整してください。

■スロットルワイヤの交換（PC2610L-EZ）

⚠注 意	工場出荷時のエンジンに組み付けられているスロットルワイヤはPC2610S-EZ用1300mm仕様です。ご使用前に作業機付属のPC2610L-EZ用スロットルワイヤ（1100mm）と交換してください。1300mm仕様のままですと、枝などの障害物に引っかかりやすくなり、エンジン回転の制御が困難になることがあります。

図6

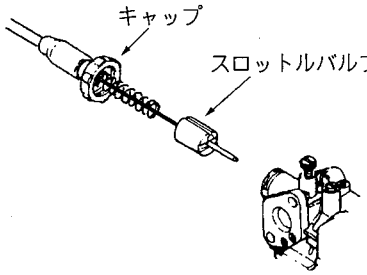
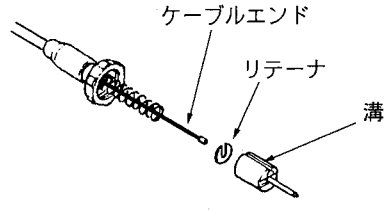


図7



1. キャブレタのキャップをゆるめ、スロットルワイヤとスロットルバルブをキャブレタから抜き出します。（図6）

2. スロットルワイヤをスロットルバルブから取り外します。

3. 作業機に付属している1100mm仕様のスロットルワイヤをスロットルバルブに取り付けます。ケーブルエンドは、リテーナの切込部とスロットルバルブの溝の向きを合せてから正しく組み付けてください。（図7）

4. スロットルバルブをキャブレタに組み付け、キャップを確実に締め付けます。

■スロットルワイヤの調整

図8

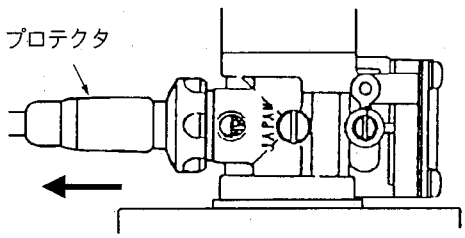
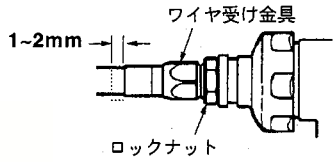


図9



1. スロットルレバーを完全に戻した位置（最低速）にしてください。

2. エアクリーナカバーのノブをゆるめてカバーを取り外してから、プロテクタ（図8）をスロットルワイヤ側にずらしてワイヤ受け金具をむき出しにしてください。

3. スロットルワイヤの遊びは1～2mmが適当です。ワイヤを指でつまんで軽く引いてみて、遊びが大き過ぎたり小さ過ぎる場合は、ワイヤ受け金具の位置を再調整してください。

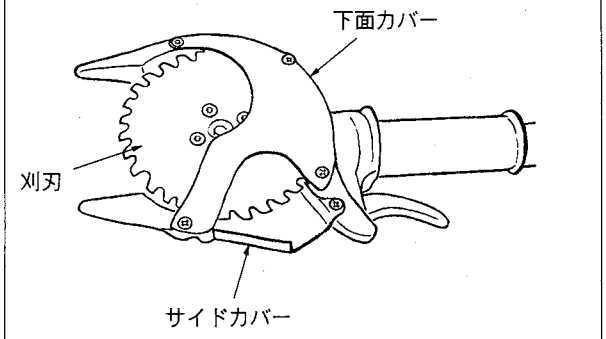
ロックナットをゆるめ、ワイヤ受け金具を右に回すと遊びが大きくなり、左に回すと遊びが小さくなります。（図9）

調整後ロックナットを締め、プロテクタを元の位置に戻してください。

■サイドカバーの取り外しかた（PC2610S-EZ）

⚠注 意	サイドカバーを取り外すと作業範囲が拡大する反面、刈刃の露出部が増えますので危険性も高まります。作業時は右手でグリップをしっかり握り、カッタを手や顔、足などに近づけないよう十分注意してください。

図10



1. 十字穴付皿ビス４本をゆるめて下面カバーを取り外してください。

2. 六角穴付皿ビス（対辺3mm）４本をゆるめて刈刃を取り外してください。

3. 十字穴付皿ネジ３本をゆるめてサイドカバーを取り外してください。

4. 刈刃と下面カバーを元通り取付け、ビスを確実に締め付けてください。

補足　取り外したサイドカバーと取付ビスは、必要に応じてすぐ取り付けられるよう、場所を決めて大切に保管してください。

燃　料

⚠ 危　険	●燃料は非常に引火しやすいため取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。 燃料の混合や給油時は必ず火気を遠ざけタバコは吸わないでください。 ●給油時にこぼれた燃料はエンジンをかける前によくふき取ってください。 ●作業中に燃料を補給する場合は給油前に必ずエンジンを停止してください。 ●燃料の入った容器はたき火やバーナーなどの近くに放置しないでください。

重　要

●４サイクルエンジン用オイルや水冷２サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

●燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。余った燃料は密閉容器に入れ冷暗所に保管してください。

混合比

□ゼノア純正２サイクルオイル使用時
..... **40:1**
（ガソリン4Lに対しオイル100mL）

□市販２サイクルオイル使用時
..... **25:1**
（ガソリン4Lに対しオイル160mL）

燃料は、最寄りのガソリンスタンドで「空冷2サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを左記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

— ゼノア純正　ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、刈払機など運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された２サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用で
キャブ詰まり追放
◎混合の手間不要
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、
排気をきれいにする各種添加剤配合
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

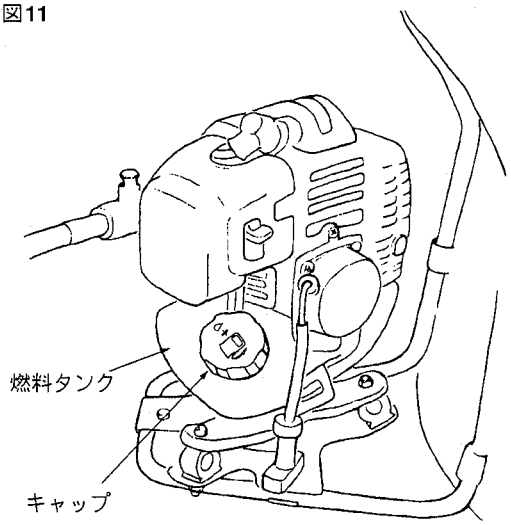
エンジンのかけかた

⚠危 険	●引火の恐れがあります。給油時は火気を遠ざけ、エンジンを停止してください。 ●満タンにするとキャップの通気孔から燃料が吹き出す恐れがあります。 給油時はタンクに空間を残してください。

⚠警 告	遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押さえていてください。

⚠注 意	●始動前に機体各部を点検し、刈刃取り付け部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ●始動前に、スロットルワイヤがフレキシブルシャフトにラセン状に巻きついていないか確かめ、巻きついている場合は、グリップ部を回してまっすぐに伸ばしてください。スロットルワイヤが巻きついたまま運転すると、スロットルレバーから指を離してもエンジンの回転が下がらず非常に危険です。 ●刈刃のロック(回り止め)をしないままスロットルレバーを引いた状態でエンジンをかけると、始動と同時に刈刃が回り始めます。始動時は刈刃が回らないように確実に刈刃をロックしてください。 ●刈刃が体や周囲の障害物に触れる危険がありますので、始動時は刈刃を体から遠ざけ、片手で作業機のグリップをしっかりと握ってください。 ●エンジンがかかったら速やかにスロットルレバーを完全に戻して刈刃の回転が止まることを確認してください。刈刃が回り続ける場合は、エンジンを停止しスロットルワイヤ及びキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。 ●火傷の恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。 ●感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。

図11

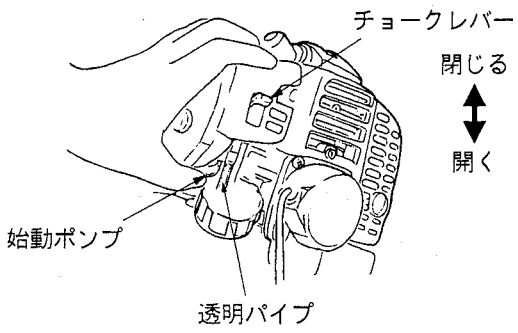


1. 燃料タンクに燃料を入れキャップをしっかり締めてください。

2. キャブレタ下部の始動ポンプでキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通ってタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。(図11)

補足　タンクに燃料が残っている状態で、エンジンを停止してから時間が経たないうちに再始動する場合は、ポンプ操作の必要はありません。

図12

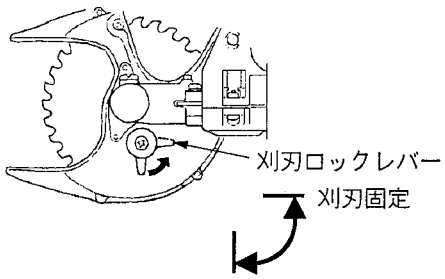


3. エアクリーナ右側のチョークレバーを上げてチョークを閉じてください。(図12)

補足 エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータロープを引いてください。

(PC2610S-EZ)

図13

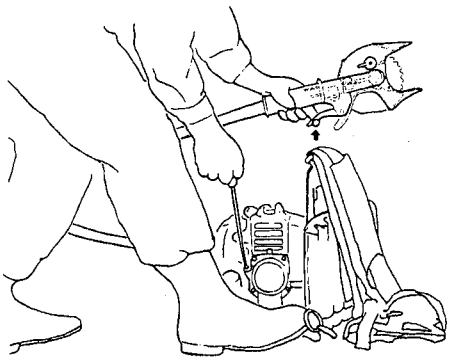


4. 刈刃ロックレバーを矢印の向きに回して刈刃を固定してください。(図13)

⚠ 警 告

回転している刈刃に触れると手指に重傷を負う危険があります。エンジン始動時やエンジンをかけたまま移動したりする場合は、事前に必ず刈刃を固定してください。

図14



5. 左手でグリップを握り、スロットルレバーを全閉にして、右足でフレームを押え、右手でスタータノブを引いてください。

6. エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に開けてください。

7. 本格運転前に2～3分間低速で暖機運転してください。

重要

- ●刈刃にロックをしたままエンジンを高速で回し続けないでください。クラッチ故障の原因となります。
- ●刈刃回転中はロックレバーを回さないでください。固定装置破損の原因となります。

(PC2610L-EZ)

図15

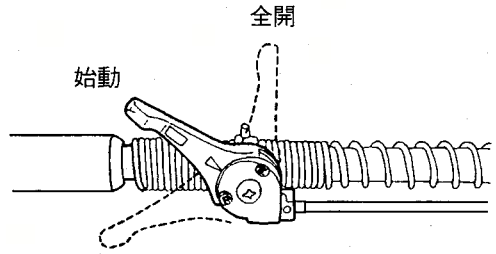
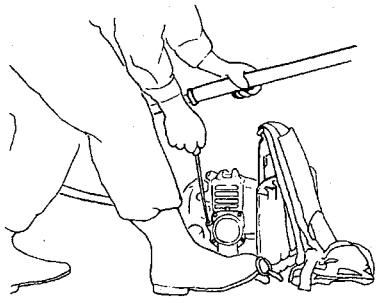


図16



4. スロットルレバーを全閉位置にセットしてください。

5. 左手でグリップを握り、右足でフレームを押えながら、右手でスタータノブを引いてください。(図16)

6. エンジンが始動したらチョークを開いてください。

7. 作業に入る前に2~3分間低速で暖機運転してください。

重要 始動時のチョーク操作が不適切ですと燃料を吸い込み過ぎてエンジンがかかりにくくなることがあります。このような場合は、チョークを開き、スロットル全開でロープを繰り返し引いてください。

⚠ 警 告

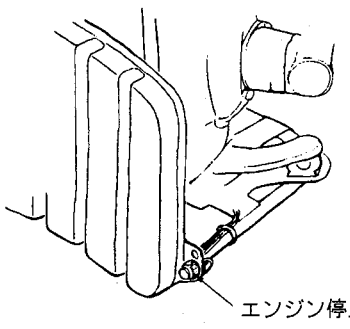
回転している刈刃に触れると重傷事故を招く危険があります。エンジン始動時は、刈刃と周囲の障害物に安全間隔を確保してください。

エンジンのとめかた

⚠注 意

- ●緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。
- ●刈刃はスロットルレバーから指を離した後も惰性でしばらく回ります。完全に止まるまで刈刃には触れないでください。

図17



1. スロットルレバーを完全に戻してください。

2. エンジン停止スイッチを、エンジンが完全に停止するまで押し続けて下さい。エンジン停止スイッチは背当て左下に取り付けられており、背負ったままでも操作できます。(図17)

操 作 方 法

⚠ 警 告

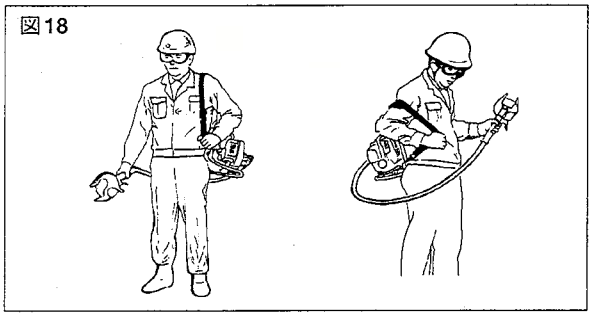
使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」(1～5ページ) 記載の注意事項を守って正しく操作してください。特に、下記注意を怠ると重傷事故を招く危険がありますので必ずお守りください。

- ●エンジン始動時、作業中断時、現場内移動時など、切断作業時以外は刈刃ロックレバーで刈刃を固定すること。
- ●刈刃にかみ込んだ切りくずなどを取り除く場合は、エンジンを停止すること。
- ●枝の切断時は、左手を刈刃に近づけたり、刈刃を左手の方向に動かしたりしないこと。
- ●切断時以外はスロットルレバーから指を離すこと。レバーを離しても刈刃が回り続ける場合はただちに作業を中止して完全に整備すること。
- ●強風、降雨、降雪時など天候が悪く安定した作業姿勢が保ちにくい場合や、体調不良、疲労時は作業を中止すること。

■背負いかた

(PC2610S-EZ)

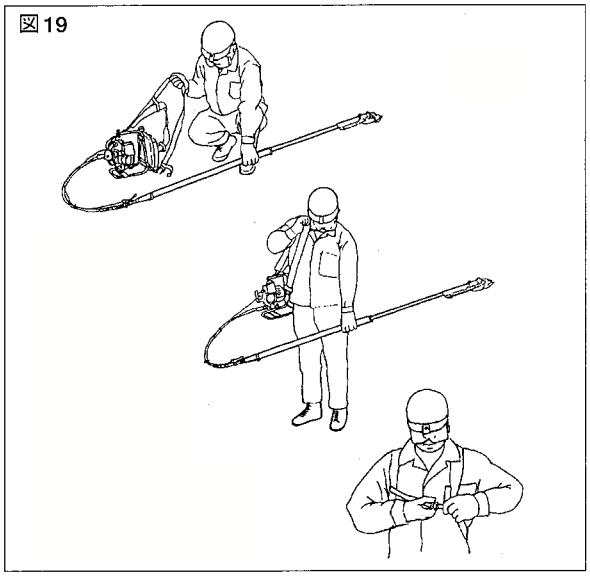
図18



1. 右手で操作部を持ち、左側の背負いバンドを左肩にかけてください。
2. 操作部を左手に持ちかえ、右側の背負いバンドを右肩にかけてください。
3. 背当てが腰の少し上になるように左右の背負いバンドの長さを調節して身体になじませてください。

(PC2610L-EZ)

図19

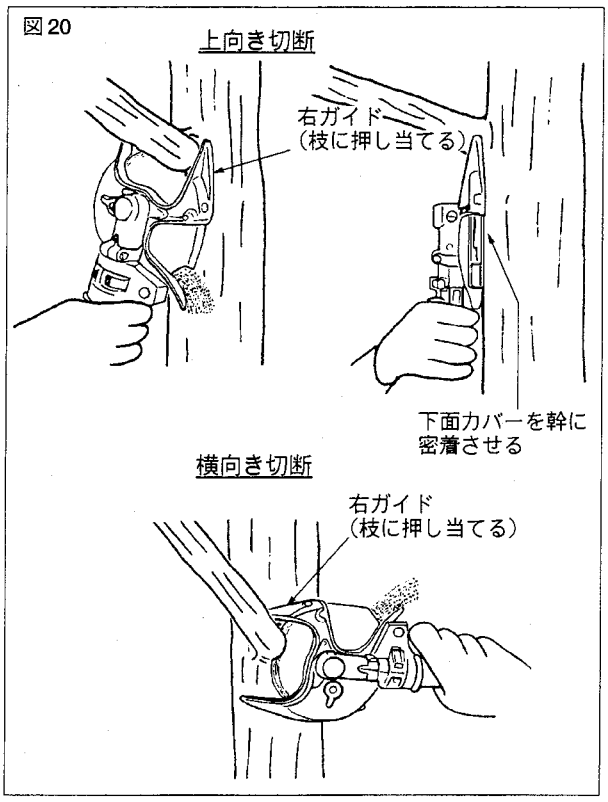


1. エンジンを始動し、暖機運転後スロットルレバーを完全に戻して刈刃の回転を止めてください。
2. 左手で操作桿のグリップを持ち、右手で背負いバンドの右側を持って右肩にかけてください。
3. 操作桿を右手に持ちかえ、左側の背負いバンドを左肩にかけてください。
4. 背当てが腰の凹みにくるように左右の背負いバンドの長さを調節して身体になじませてください。
5. 作業中に背負いバンドがズリ落ちないように胸バンドで連結してください。

■枝打ち作業（PC2610S-EZ）

細い枝の切断

図20



比較的細い枝を切断する場合は、操作部の前開口部を使って、右ガイドを枝にあてがい、下面カバーを木の幹に密着させながら上向きまたは横向きにまっすぐ切り進めてください。（図20）

重要

●切断の途中で刈刃が切り口にはさみ込まれた場合は、スロットルレバーを離し、刈刃にロックをしてから片手で枝を持って切り口を開いてください。無理にこじると刈刃が曲がったり、刃先が欠けることがあります。

●下面カバーを浮かしたり、ガイドを使わないと、刈刃が振れて切りにくいだけでなく、切り口が荒れる原因となります。

●操作部は刈刃の切り込み速度に合わせて適切な速さで送ってください。一気に切ろうとすると刈刃が食い込みやすくなり、遅過ぎると摩擦熱で切断面が焼けることがあります。

太い枝の切断

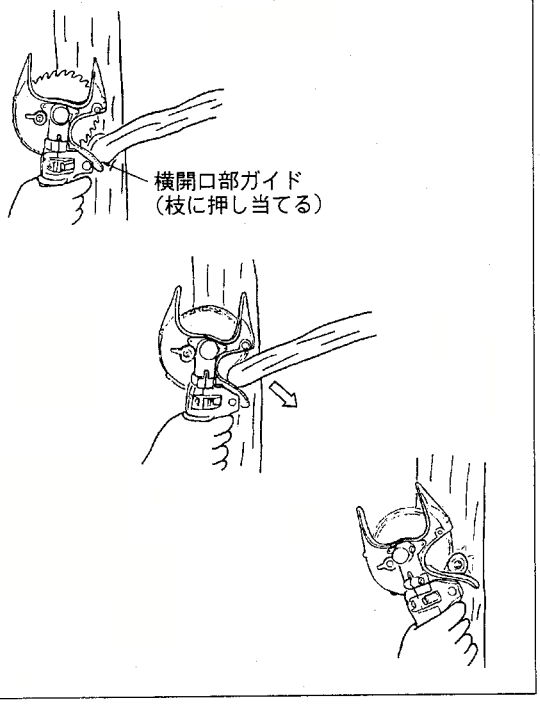
図21

重く太い枝は、切断時に枝の重みで刈刃がはさまれたり、枝が裂けて幹を傷めたりすることがあります。このような場合は次の手順で、枝を2回に分けて切る「2段切り」（図21）をしてください。

1. サイドカバーを取り外す。
2. 横開口部の手元側ガイドを枝にあてがい、幹から離れた位置で上から下に枝を切り落とす。
3. 細い枝と同じ要領で残った枝を切り落とす。

横開口部での枝打ち

図22



通常の枝打ちに横開口部を使う場合は次の要領で操作してください。

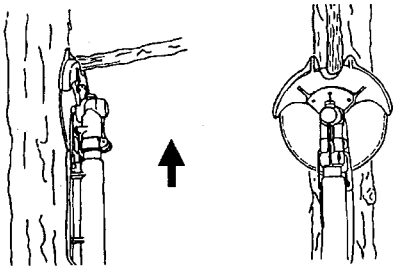
1. 下面カバーを木の幹に密着させ、横開口部のガイドを切断する枝にあてがいます。

2. 幹を傷つけないよう刈刃の傾きに注意しながら、ガイドを枝にあてがったまま図の矢印の方向に切り進めます。
3. 切断部が幹から飛び出している場合は、再度同じ要領で切り落とします。

■枝打ち作業（PC2610L-EZ）

先端開口部を使っての切断

図23



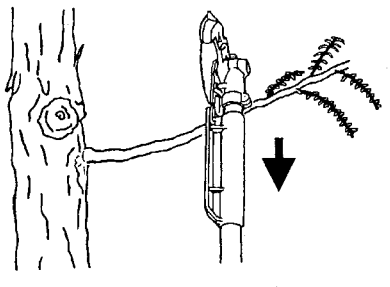
太さが2cmまでの枝は先端開口部を使って切断することができます。

1. スライドと刈刃カバーの下面を幹に密着させます。

2. 幹に傷をつけないよう刈刃の向きに注意し、操作桿をゆっくりと押し上げながら枝を切断します。

補足　切断時は一気に切ろうとせず、刃が自然に切り進むような感覚で行なうことがコツです。

図24

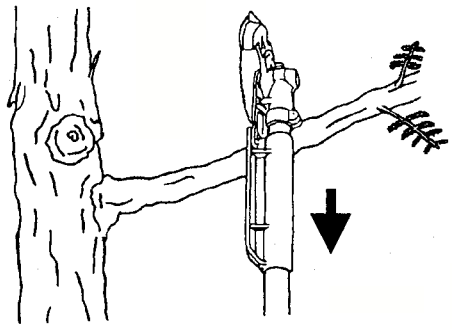


補足　枝を下側から切ると、枝の重みで刈刃がかみ込まれやすくなります。長い枝や小枝の伸びた重い枝を切る場合は、幹から10～20cm残して上から切り落とした後（図24）、残りの部分を幹に沿って切断してください。

横開口部を使っての切断

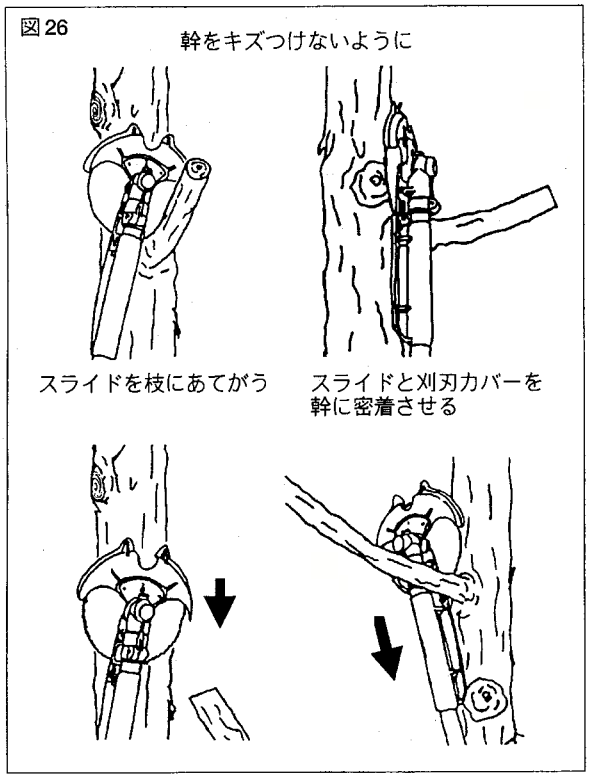
・刈刃が右回転のため、なるべく右開口部を利用するようにしてください。刈刃がハネにくく、スムーズに切断できます。
・左開口部を利用する場合は、スライドが枝から浮き上がらないように強く押しつけながら切断してください。

図25



1. スライドの右側面部を枝にあてがい、幹から10～20cm残して上から切り落とします。(図25)

図26



2. 切り残した枝にスライドの右側をあてがいながら、スライドと刈刃カバーの下面を幹に密着させます。

3. 幹に傷をつけないよう刈刃の傾きに注意し、操作桿を手前に引き下げて枝を切断します。

●左側に出ている枝の切断（図26下右）

1. 枝の下側からスライドの右側をあてがいます。

2. 幹に傷をつけないよう刈刃の傾きに注意しながら操作桿を手前に引き、枝を切断します。

点検整備

⚠ 注意	●点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ●機体の改造やエンジンの分解はしないでください。 ●部品交換時はゼノア純正部品または指定品を使用してください。

■作業前後点検

作業前後に次の点検を行なってください。

	点検項目		処置
1	刈刃	・取付ボルトゆるみ ・割れ、曲がり ・刃先摩耗	・締め付け ・交換 ・研ぎ直しまたは交換
2	刈刃カバー	・取り付け部ゆるみ ・破損	・締め付け ・交換
3	グリップ	・オイル付着	・ふき取り
4	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
5	スロットルワイヤ	・遊び過大、過小 ・動きが悪い	・修正 ・修理または交換
6	エンジン取付部	・ゆるみ	・締め付け
7	燃料タンク	・取り付け部ゆるみ ・燃料パイプ損傷 ・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換 ・交換
8	マフラ	・取り付け部ゆるみ	・締め付け

■定期点検

下記の使用時間毎に点検を行なってください。

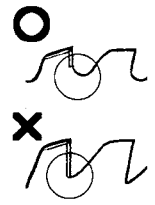
点検整備項目		使用時間			備考
		25時間	50時間	100時間	
エンジン	シリンダフィンのゴミ除去	○	○	○	
	エアクリーナエレメントの清掃	○	○	○	
	スパークプラグの清掃と調整	○	○	○	スキマ0.6～0.7mm
	燃料タンクの清掃		○	○	
	シリンダ取付ボルトの増締め			○	
	エンジン各部の増締め			○	
	マフラカーボン落し			○	
本体	スロットルケーブルの清掃	○	○	○	グリップから外し、清掃又は交換後再組み
	フレキシブルシャフトグリス補給	○	○	○	
	ギヤケースグリース補給		○	○	
	クラッチドラム汚れ除去			○	

■刈刃

⚠ 警 告

刈刃の取扱いを誤ると重傷事故を招く危険があります。刈刃の手入れや交換を行う場合は次の点に特に注意してください。

- ●作業前にエンジンを停止すること。
- ●刈刃に「亀裂」や「欠け」、「曲がり」などがないかよく調べ、異常が認められた場合は使用を中止し正常な刈刃と交換すること。
- ●刈刃および刈刃取付ネジは純正品以外は使用しないこと。
- ●刃先の研ぎ直し時は、歯元に丸みを残すこと（右図）。
- ●刈刃および下面カバーの取付ネジは、正しい工具を使い、確実に締め付けること。
- ●刈刃取付け後、刈刃を手で回して上下のカバーに触れないことを確かめること。



刈刃の種類	研ぎ直し用具
丸のこ刃	平ヤスリ
チップソー	ダイヤモンド砥石

図27（PC2610S-EZ）

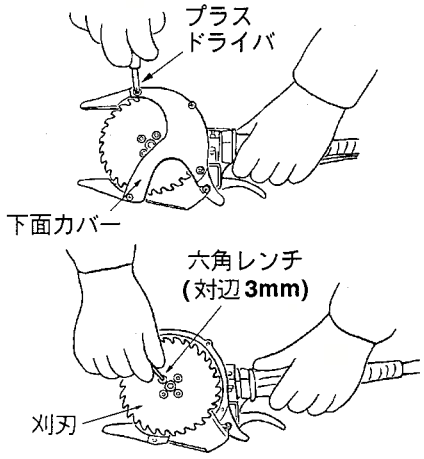
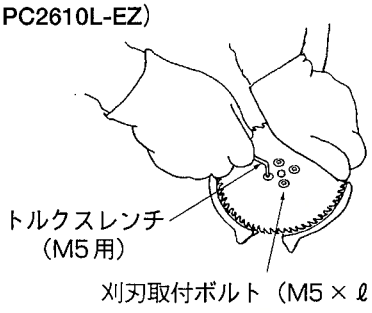


図28（PC2610L-EZ）



休憩時間などを利用して、刈刃に付着した樹脂の除去や刃先の点検などをしてください。研ぎ直しには左記の道具を使用してください。

重要 刃の切れ味が悪いと、枝の切断に時間がかかるだけでなく、腕の疲労が増大します。また、機械の燃費や寿命にも悪影響をあたえます。

補足 刈刃に付着した頑固な樹脂は、刈刃を取り外して中性洗剤を薄めた水につけてからブラシでこすると容易に取れます。

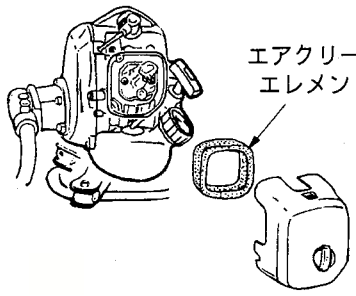
【刈刃の取り外しかた】

1. 十字穴付皿ビス４本をゆるめ、下面カバーを取り外す。(PC2610S-EZ)
2. 刈刃ロックレバーを回して刈刃を固定する。(PC2610S-EZ)
3. 六角穴付皿ボルト４本をゆるめ、刈刃を取り外す。

重要 刈刃取付ボルトは固く締め付けられているため、レンチのサイズが違ったり、かかり方が不十分だと、レンチやボルトの頭部を傷めることがあります。ボルトが錆び付いてゆるみにくい場合は、無理をせずスプレー潤滑剤などでゆるめてください。

■エアクリーナ

図29

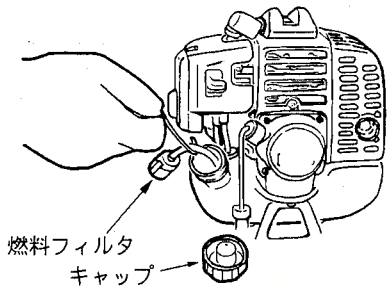


25時間使用毎にエアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。エレメントがひどく汚れている場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

重要 エアクリーナエレメントが詰まるとエンジン性能が低下します。また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

■燃料フィルタ

図30

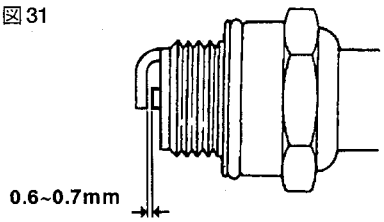


25時間使用毎に燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

重要 燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり回転変動を起こしたりします。

■スパークプラグ

図31



⚠ 注 意

運転直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。高温のためやけどを負うおそれがあります。

25時間使用毎にスパークプラグを取り外して電極の汚れをワイヤブラシなどで取り除いてください。
電極間隙は 0.6～0.7mm が適当です。
プラグ交換時は指定品をお使いください。

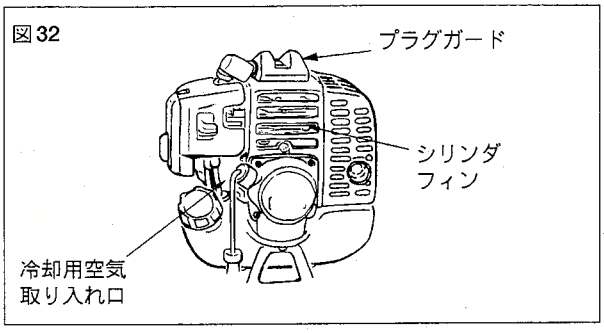
重要 燃料を吸い込みすぎたりオイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。

指定スパークプラグ

銘柄	チャンピオン	NGK
型番	CJ-6Y	BPM7A

■冷却用空気通路

図32



⚠ 注 意

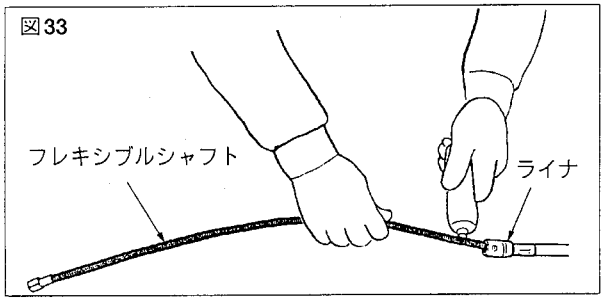
運転中はプラグガードを取り外したり、冷却用空気取り入れ口に物を差し込んだりしないでください。冷却ファンに触れて負傷する危険があります。

25時間使用毎に冷却用空気取り入れ口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。シリンダ上部は、プラグガード（図21参照）を取り外してから点検してください。

重要 冷却用の空気取り入れ口やシリンダフィンの間にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。

■フレキシブルシャフト

図33



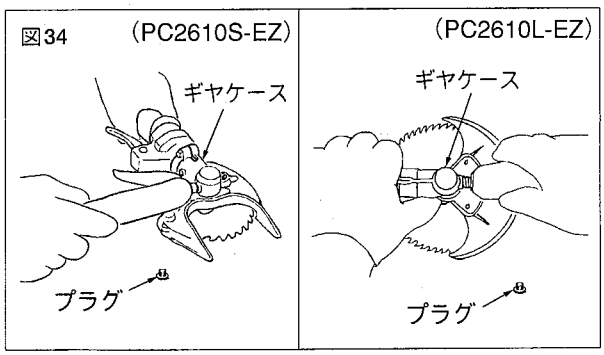
25使用時間毎を目安にフレキシブルシャフトにグリースを補給してください。

1. クラッチハウジングのストッパを引きあげながらライナを抜いてください。
2. ライナからフレキシブルシャフトを50cmほど引き出し、表面にグリースを塗布してからライナに差し込んでください。

指定グリース
ゼノア純正グリース（品番:Z3920-91130）

■ギヤケース

図34

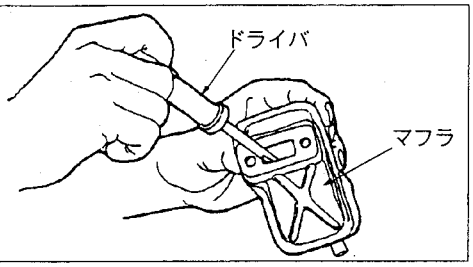


50時間使用毎を目安にギヤケースにグリースを補充してください。
補充時は、左図のようにギヤケース横のプラグを取り外し、プラグ穴からチューブ入りグリースを注入してください。

指定グリース
ゼノア純正グリース（品番:Z3920-91130）

■100使用時間毎の手入れ

図35



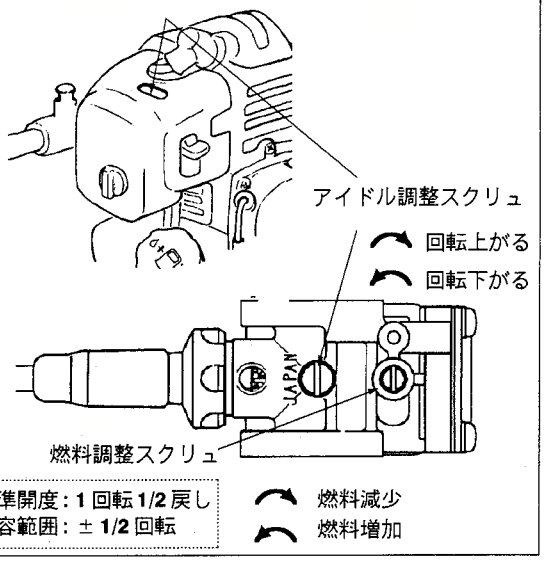
1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。

2. 各締め付け部の増締めを行なってください。

3. クラッチのライニングとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

■エンジンの調整

図36



重要 エンジンの調整はキャブレタで行ないますが、調整を誤ると燃料消費の増加や、加速不良、エンジン過熱などの原因となります。下記調整で直らない場合はお買い上げ店にご相談ください。

□アイドル調整スクリュ

スロットルレバーを最低速の位置にした時のエンジン回転数を調整するスクリュです。右（時計回り）に回すと回転が上がり、左（反時計回り）に回すと回転が下がります。

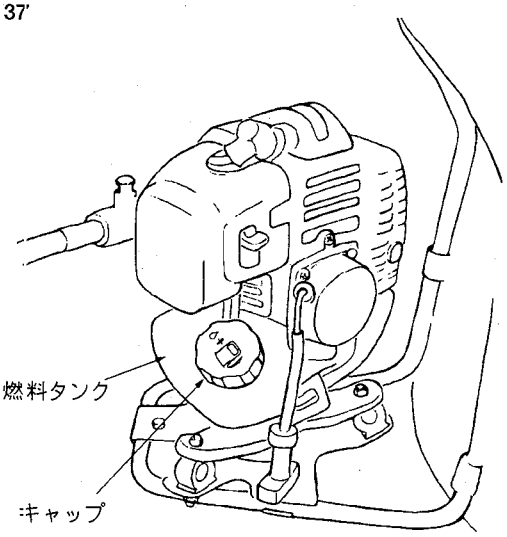
スロットルレバーを完全に戻した時刈刃が回り続けたりエンジンが止まってしまう場合は再調整してください。

□燃料調整スクリュ

燃料調整スクリュは出荷時に調整されています。通常は調整の必要はありませんが、運転条件の変化等により燃料消費が増えたり加速が悪くなった場合は、いったん締め込んでから基準開度に戻してエンジンをかけ、許容範囲内でエンジンの調子が最も良くなる位置（アイドリング時に刈刃が回らず、かつエンジンの回転が安定すること。また、加速時もたつきのない状態）にセットしてください。

■長期保管時の手入れ

図37'



⚠ 危　険	
	●引火の恐れがあります。燃料抜き取り時は火気を遠ざけ、エンジンを停止してください。 ●燃料抜き取り時にこぼれた燃料はよくふき取ってください。 ●燃料容器はキャップを確実に締め、冷暗所に保管してください。

1. 燃料タンクから燃料を抜き取った後エンジンをかけ、自然に止まるまで運転してください。

2. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。

3. 機体各部の汚れを落とし、刈刃やスロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗った後、適当な覆いをして屋内の湿気のない場所に保管してください。

延長シャフトの取り付け方 (PC2610L-EZ・オプション)

別売りの延長シャフトを継ぎ足すことにより、4～4.5メートルの高さまで枝打ち作業が可能になります。

図38

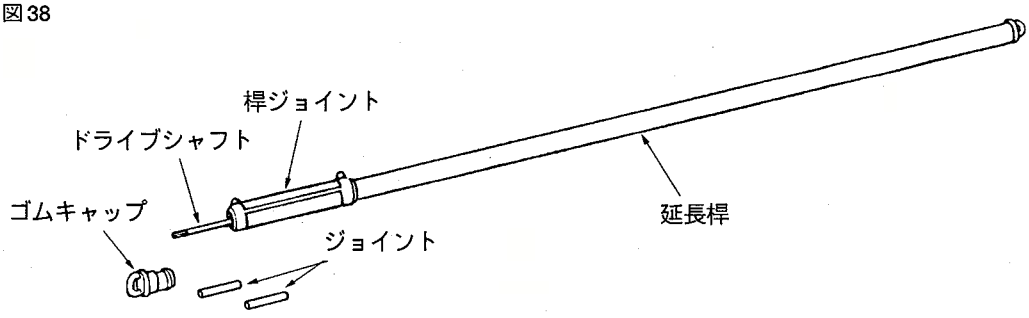


図39

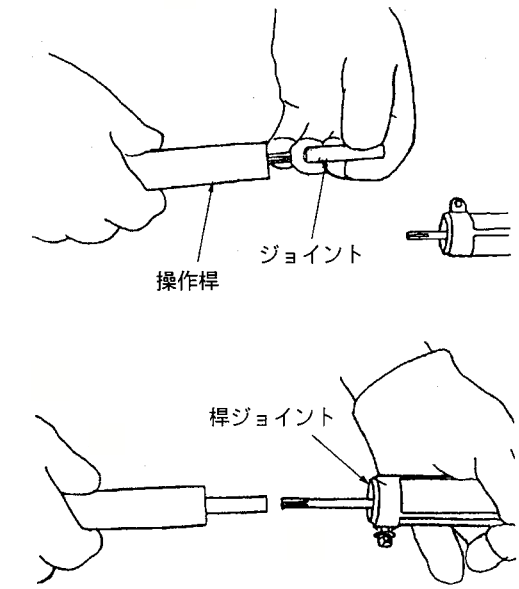
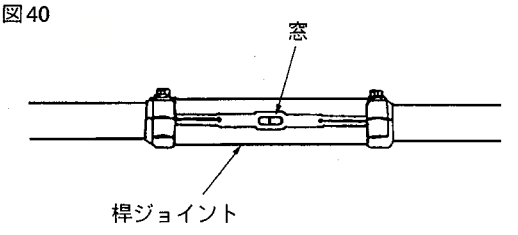


図40



●接続方法

1. 本体の操作桿をフレキシャフトから取り外します。(9頁の図3参照)

2. 操作桿からグリップを抜き取ります。

3. 操作桿側のドライブシャフトに、延長シャフト付属のジョイントをはめ込みます。

4. 延長桿の桿ジョイントからゴムキャップを取り外し、操作桿を完全に差し込んで接続し、固定ボルトを六角レンチ(対辺5mm)で締め付けます。

・桿ジョイント中央部の窓まで操作桿が入っているか確認してください。

5. 延長桿のもう一方の端からゴムキャップを取り外してグリップを取り付け、ボルトで固定してください。

6. 延長桿の端を、白線部までフレキシャフトの中間ブラケットに差し込み、ボルトで固定します。

・取り外したゴムキャップは延長桿の収納時に必要となりますので大切に保管してください。

製品主要諸元

名称・型式		ゼノア背負式枝打機	
		PC2610S-EZ	PC2610L-EZ
本体乾燥質量※1 kg		7.0	8.5
背負い部寸法(全長×全幅×全高) mm		280×340×370	
作業機全長※2 mm		1518	2780
標準刈刃		丸のこ刃(直径130mm、歯数30、刃厚1mm)	チップソー(直径140mm、歯数60、刃厚2.2mm)
動力伝達方式		自動遠心クラッチ、スパイラルベベルギヤ	
減速比		1.337(一次18:19、二次15:19)	
刈刃回転方向		時計回り(ギヤケース側から見て)	
最大切断可能径		φ45	先端開口部φ25　横開口部φ54
エンジン	形式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン	
	型式	ゼノア G26LS	
	排気量 mL	25.4	
	燃料タンク容量 L	0.75	
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン〔混合比 40:1(ゼノア純正オイル使用時)または 25 : 1(市販オイル使用時)〕	
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル	
	キャブレタ	ダイヤフラム、ピストンバルブ式	
	点火方式	IC制御フライホイルマグネト式	
	スパークプラグ	チャンピオン CJ-6Y	
	始動方式	リコイルスタータ式	
	停止方式	点火回路一次側短絡式(押しボタン)	

(※1) 燃料を除く　(※2) フレキシブルシャフト端部～刃先

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

ZENOAH

株式会社 ゼノア http://www.zenoah.co.jp/

本社:〒350-1165 埼玉県川越市南台 1-9 カスタマサポートグループ TEL(049)243-1110

北海道支店 TEL (0133) 73-0355
東 北 支 店 TEL (022) 235-4621
東 京 支 店 TEL (049) 243-6380
中 部 支 店 TEL (052) 701-8011
大 阪 支 店 TEL (06) 6864-0065
西 部 支 店 TEL (086) 241-3632
九 州 支 店 TEL (092) 504-6261
鹿児島営業所 TEL (0995) 63-1779

(平成 19 年 6 月現在)
T1827-93111(E0/A706) PRINTED IN JAPAN